

用語解説

| No. | 項目 | 説明 |
|-----|------------------|---|
| 1 | パートナーシップ 排雪制度 | 市民要望の高い生活道路の排雪について、地域、市、受託業者が、それぞれの役割を分担しながら連携し、生活道路の排雪を実施することにより、快適な冬期生活環境を創出することを目的とした制度。 |
| 2 | 除雪従事者 | 除雪センターの職員、除雪オペレーター、除雪作業員など除排雪作業に携わる人。 |
| 3 | 除雪オペレーター | 除雪グレーダやタイヤショベルなどの除雪機械の運転手。 |
| 4 | 雪堆積場 | 排雪作業で運び出された雪を、堆積する場所。 |
| 5 | 除雪予算 | 道路の除雪や運搬排雪、雪堆積場の管理、雪処理施設やロードヒーティングの管理など札幌市の雪対策にかかわる予算。 |
| 6 | 労務単価 | 公共工事の積算等に用いられる、建設労働者に対する一人当たりの所定労働時間内8時間当たりの賃金。 |
| 7 | 機械損料 | 公共工事の積算などに用いられる企業が所有する建設機械の経費で、償却費、維持修理費、管理費等の費用を1時間当たり又は1日当たりの金額で表示したもの。 |
| 8 | I C T | Information and Communication Technology の略。情報や通信に関連する科学技術の総称。 |
| 9 | 除雪水準 | 幹線道路、生活道路、歩道といった道路種別ごとに、目標とする確保すべき「幅員」と「圧雪厚」「路面管理基準」などを示したもの。〈冬みちプランP. 47, 51, 54 参照〉 |
| 10 | 雪体験授業 (雪体験教室) | 小学生(幼稚園)を対象とした、砂入りペットボトル作製や除雪機械試乗など、除雪に関する出前授業に各種体験学習を併せた総合学習。 |
| 11 | D X | Digital Transformation の略。組織やビジネスプロセスを、デジタル技術を活用して効率的かつ革新的に変革すること。 |
| 12 | 融雪施設 | 下水処理水などが持つ熱エネルギーを利用して、排雪作業で運びだされた雪を融かすための施設。 |
| 13 | G P S | Global Positioning System の略。全地球測位システム。人工衛星を利用して、利用者の地球上における現在位置を正確に把握するシステム。 |

| No. | 項目 | 説明 |
|-----|---------------------------|---|
| 14 | ビッグデータ | ICTの進展により生成・収集・蓄積等が可能・容易になった、多種多量で、各データを連携させることで事業に役立つ知見を導き出すことができるデータ。 |
| 15 | i-Snow | 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組プラットフォームの通称。（事務局：北海道開発局） |
| 16 | RFタグ (Radio Frequency) | タグリーダーから電波を照射することで、タグに書き込まれた情報をワイヤレスに読み取ることができる機器。数メートル離れたところでも通信が可能であり、タグ自体はバッテリー不要。 |
| 17 | クラウド | ユーザーがインターネットなどのネットワーク越しに、サーバー・ストレージを利用できるサービス形態。 |
| 18 | 地域密着型 雪処理施設 | 排雪作業で運びだされた雪を公園等のオープンスペースに一時堆積し、未処理下水が持つ熱エネルギーを利用して、下水道管きよ内で融かす施設。 |
| 19 | 小型除雪機 | 機械の回転する部分を利用して投雪作業を行うように設計された歩行型の除雪機。 |
| 20 | 除雪用具 | スノースコップやスノーダンプなど、積もった雪を切り出したり、寄せたり、運んだりするために用いる道具。 |
| 21 | 福祉除雪事業 | 道路に面する一戸建て住宅に居住し、高齢や障がいにより自力で除雪を行うことが困難な世帯などを対象に、市民や地域の団体、企業などが「地域協力員」として、歩行に支障のない範囲で道路に面した出入口部分や敷地内通路の除雪を行う事業。 |
| 22 | インセンティブ | 意欲向上や動機付けのため刺激策。行動を起こすときの内的欲求を刺激し、引き出す誘因。 |
| 23 | SNS | Social Networking Serviceの略。インターネット上でのメッセージのやりとりなどを通じて、人と人との交流を広げていくサービス。 |
| 24 | デジタル サイネージ | 映像表示装置とデジタル技術を用いた広告媒体。 |